

大久保 規子

法学研究科・教授

【研究】

今年度は、第1に、前年度に続き、自然の権利に関する学際的な研究プロジェクト(科研費基盤A)を推進し、国内外の研究者を招いて研究会等を実施した。第2に、コミュニティ参加型の自然資源管理に関しても、北タイに焦点を当てて日本及びタイの研究者による協働研究(科研費国際共同B)を継続し、オンラインで開催されたメコン政策対話で報告するなどした。

そのほかにも、学内ではSSIの基幹研究プロジェクトを継続実施し、学外でも高レベル放射性廃棄物、気候変動等に関する科研等の共同研究に分担者として参加するなど、上記2つの研究を柱に関連する研究を進めた。

【教育】

法学部では、行政法の大人数講義科目のほか、ゼミの授業時間外の活動にも力を入れ、大学の自主研究奨励事業では、アイヌ法政策に関する研究も指導し、学生主体の1週間にわたるヒアリング調査に同行した。また、法学研究科では、大学院生に関連の各種研究プロジェクトに参加できるように配慮した。

【管理運営】

評議員、法研副研究科長としての適正な職務執行に努めた。

【社会貢献】

前年度に引き続き、中央環境審議会委員、交通政策審議会委員、大阪府公害審査会委員等、国及び自治体の審議会等で、新たな施策の立案、適正な紛争処理等に努めた。また、環境法政策学会の理事等として学会の運営に参加し、学術大会の企画幹事を担当するとともに、日本学術会議会員として各種業務に従事した。さらに、NGO等が主催する講演会等において、研究成果の社会還元
に努めた。